



京都・宇治旅行 (2015)

2015 年 9 月 21 日「響け！ユーフォニアム」聖地

はじめに

今回は、何を「ことの始まり」とするかが難しい。

5月にマイクロソフトの技術者向けイベント「**de:code 2015**」が催されたのだが、このとき5年ぶりにイベント向けの新聞を発行する機会があった。「de:code 2015」は何万円もする有償イベントなので、一般として参加するかどうか迷っていたところであり、(まともにセッションを受講できなくなるものの)最新のトレンドについて捕捉する場所に仕事として関われるのはありがたかった。

イベント開催の直前になって、展示コーナーに出展するFIXERという会社の企画で、**豊田萌絵さんとの握手会**が催されることを知った。なんで技術者向けのイベントに声優さんが?という驚きはあったものの、そういうことが好きな人が社内にはいたということなのだろう。そして、その豊田萌絵さんが出演する「人生」というアニメーションのイベントが1月に開催されており、私も参加していたのだ。



「人生」自体は、あまり売れた印象はないのだけれど、1巻だけ異常に安く値付けされていたということもあり、ちょっとアニメイベントにはまって色々参加していたひとつという感じではあるのだが、その声優さんがde:codeの会場にやってくるというのは、心躍る出来事だった。

ただ、今回は一般参加ではなく仕事なので、嬉々として握手会に参加してよいものか迷った。本当はイベントで制作する新聞の記事として載せたいところだったが、「展示会社はたくさんあるので、一社だけ特別扱いはダメ」と言われて諦めた。そこでFIXERの人に「イベント関係者だけど、握手会に参加してよいか」をたずねて了承していただいた。しかも、一緒に写真まで撮っていただいた。嬉しかったけど、こんな**サービス旺盛**でいいのか!?



この時期、豊田萌絵さんが出演していたのが「**響け!ユーフォニアム**」というアニメだった。主人公を囲むメインキャラの一人、川島緑輝(かわしまさふあひあ)を演じている。ちょうど、この夜が放送日だった。本当は翌朝早くから仕事なので早目に寝ようと思っていたが、なんとかりアルタイムで視聴。blu-rayも全巻予約した。

実のところ、「響け!ユーフォニアム」は毎週見ていたものの、序盤は微妙だなと思っていた。ところが、この頃からずっと面白くなっていき、結局このクールのベスト作品だと確信するようなアニメだった。その後10月のイベントにも参加したし、最近、総集編としての劇場版と、2期の制作も発表された。すばらしいアニメだ。

さて、それとは関係なく「SHIROBAKO」という、これまたすぐれたアニメ作品がある。当初から企画されていたイベントの抽選には外れてしまったが、新たに9月20日にスペシャルイベントの開催が告知され、blu-rayの3巻に優先申込券が入っていた。blu-rayが届いたらすぐに申し込みもうと思ったが、まだ受付が始まっていなかった。そして、そのまま申し込みを忘れてしまったのだ。絶対に行きたかったのに！



その後、一般受付が行われることが発表されたが、その間に中学時代の同級生から**同窓会のお誘いがあった**。「SHIROBAKO」のイベントには参加したいが、同窓会も私にとっては30年ぶりの話だ（地元では3年おきくらいに開催していたらしい）。「SHIROBAKO」のイベントに申し込んでいて当選していたら、同窓会の方を見送っていただろう。だが、今回は「運よく」申し込みを忘れていたので、一般販売に申し込みなければよい。どちらを取るか悩んで、今回は同窓会を選んだ。

同窓会の日の夜は、地元に住んでいる妹宅に泊まらせてもらうつもりで話をしていたが、3日前になって「部屋を片付けるのが面倒だから、そのまま帰って」と連絡があった。その連絡が1日早ければ高速バスの予約をキャンセルできたのに！

結局、同窓会の翌日は丸一日予定が空いてしまった。そこで思いついたのが「響け! ユーフォニアム」の聖地、宇治に行ってみることだ。以前、「中二病でも恋がしたい!」のラッピング電車を走らせていた京阪大津線は、「響け! ユーフォニアム」のラッピング電車を走らせている。しかも、特製切符も販売中だ。

名古屋まで高速バスで安上がりにしたのに、名古屋ー京都間で新幹線は使いたくない。青春18きっぷがあったら1枚だけ使いたいところだが、それもないので、普通電車を乗り継いでいくことにした。それでも往復五千円くらいかかる。後から思えば、高速バスの安い時期を選べば、それくらいの費用で東京から往復できたかもしれない。

ちなみに、帰省前日の9月19日は「**心が叫びたがってるんだ。**」というアニメ映画の公開日で、初日舞台挨拶をお台場まで見に行った。予約した高速バスは池袋発だったので、映画を観終わった後に向かったのだが、途中でHDDレコーダーの残量が足りなさそうなことを思い出した。けっこう遠いのでいったん帰るのもバカバカしいと思ったが、結局



戻った。戻って良かった。全然足りなくなっていた。そして、空き容量を増やすバックアップに時間がかかって、ふたたび池袋に向かうのが時間ギリギリになってしまった。やれやれ。

池袋から名古屋までの高速バスは、いつもと同じであり寝られなかった。これはもう、どうしようもない。名古屋から同窓会の会場までは歩いた（約11km）。同窓会は、ほとんどの人が成人式以来なので懐かしかった。高校の時の友人もいたが、私は「行方不明者」扱いになっていたらしい。「twitterで連絡したけど返事がなかった」とか言われたけど、全然覚えがなぞ。facebookはまったく使っていないので、ありうるけれど。

やはり「SHIROBAKO」イベントを見送ったのは惜しかったけど、同窓会を選んでよかった。その後、妹宅などに立ち寄って、その夜、名古屋まで戻った。

名古屋

午後10時頃に名古屋に着いた。遅くなったので念のためにネットカフェに空きがあるか不安になり電話したが、禁煙&マット席は「あと1席だけ」という返事だった。予約はできない。この時間に他で泊まれるところが探せるかもわからないから、走ってネットカフェに向かった。それほど時間はかからなかったと思ったが、到着したら「空いてる部屋はありません」



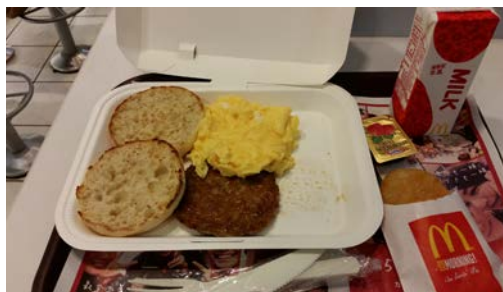
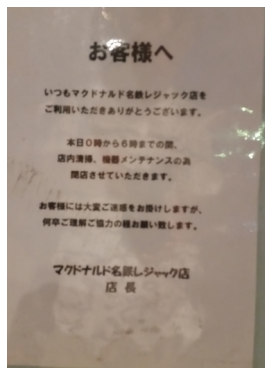
今、この間に埋まってしまったのか?と思ったが、そうではなかった。「残っている部屋はパソコンが使えない」のでカウントしていなかった(電話のときに空いていたのは、その部屋だった)。パソコンは、あれば使うが、Surface 3を持ってきているので必須ではない。電話のときに「空いてません」と言われなくてよかった。これで落ち着くことができた。

翌朝は、また始発で出発しようと考えていたけれど、随分遅くなったので無理して早起きしないようにした。予定をずらすと電車の時間を調べなおさないといけないが、しかたない。

もう一点、店内は深夜とは思えないほど明るかったのと、喫煙室に近いらしく煙かったので寝にくかった。寝られたのは、たぶん11時を過ぎてからだ。

そして翌朝、寒くて4時20分頃に目が覚めた。もう少し寝ようと思ったが、結局ね直すことができず、そのまま予定通りの時間で出かけることにした。5時過ぎにチェックアウトして、すぐ近くのマクドナルドで朝マックを食べようと思ったら、この日に限って機材メンテナンスで閉まっていた。なんだよそれ。24時間営業のはずなので安心してた。

この時間に空いてる店はあまりない。しかたがないので駅中にあるマクドナルドまで行ったら、そちらは開いていた。ちょっとカロリー高めな朝食だが、前日もけっこう歩いたのでこれくらい食べてもいいだろう。むしろ、始発までの残り時間が気になるころだった。



マクドナルドを出た時点で、電車の出発までの残り時間が10分を切っていた。だが、あとは切符を買って電車に乗るだけだから、念のためにトイレに寄った。すぐ近くには改札があったから、そこから入ろうとする。が、最初の目的地の大津駅はJR関西の駅だ。Suicaでは入れないのではないかと改札の人に聞いてみると、「**Suicaは使えないですね。切符を買ってください**」とのことだった。この時点で、まだ5分あった。まだ余裕。

ところが券売機では大津行きの切符が買えない。買えるのは近郊部までの切符だけだ。京都行きだけは別のボタンが用意されていたが、今は必要ない。もう一度改札の人に尋ねた。「**大津行きは中央コンコースの切符売り場で買ってください**」なんだって!!!

出発まで残り3分しかない。中央コンコースまで走る、走る。走ったところで切符を買う時間があるとは思えなかったが、走った。切符売り場はあったが、人が並んでいた。無理だ。これはもうSuicaで入って、出口で清算してもらうしかない。電波腕時計は、あと20秒だ。大垣行きのホームを探して、すぐに「大垣」と表示されている電光掲示板を見つけてそのホームに駆け上がった。

よし間に合った!と思ったが、ホームに電車がいない。ふと向かいのホームに「大垣」と行先表示が出ている電車がかった。発車のベルが鳴っている。「大垣」行というだけで出発時間が違うホームに駆け上がってしまったようだ。**タイムオーバー!**

いったん改札を出してもらって、切符売り場で大津行きの切符を買った。

久々に全速力で走った上、結局間に合わなかったのどっと疲れが出た。朝なので電車の本数も少なく、次の電車までは30分待つことになった。こんなことなら、もっとゆっくり寝ていられたらう。予定通りのつもりが、全部見直すことになり、先の思いやられる出発だった。



京阪大津線～響け!ユーフォニアム

大津行きの電車の中で予定を見直して、京阪大津線の膳所(ぜぜ)で乗り換えて浜大津に向かった。まず、ここで「響け!ユーフォニアム」の特製乗車券を買うためだ。予定より遅く8:47に到着した。しかし、なんと**切符売り場が9時から開始**で、まだ開いていなかった。つまり、名古屋で始発に間に合っていたとしても、意味がなかったわけだ。力が抜けた。

売り場が開くのを待っている人は何人がいて、そのうちの一人のひと話をしていたが群馬からやってきたそうだ。原作からのファンでアニメも楽しんでいるとのこと。なんでも名古屋も舞台として使われていたそうだ。後で調べたらオープニングの締めくくりが名古屋国際会議場だった。事前に知っていたら立ち寄る時間くらいあっただろう。

9時に売り場が開き、特製乗車券は次々と売れていた。転売でもするのだろうかというほど何組も買っていた人もいた。でも、みんな買っても使わないんだね。紙製で使うためには切り離さないといけないからかもしれないけれど、(これでなくても)フリー切符を使わないと折り返し駅で改札を出ないといけないうんだよ。



夏服バージョン(上)は発売されたばかり

特製乗車券を買ったら、次はラッピング電車だ。以前にも「中二病でも恋がしたい!」や「ちはやふる」などのラッピング電車が走っていたが、大津線にはアニメ関係だけでなく、さまざまなラッピング電車が走っているのだ。ラッピングでない電車の方が少ないのではないだろうか。

このときも、「和歌山国体」「きかんしゃトーマス」「鉄道むすめ」などのラッピング電車を見かけた。



そして「響け!ユーフォニアム」のラッピング電車がやってきた。



特製乗車券を使って乗車する





京阪線

「中二病でも恋がしたい」ほどには派手ではなかったが、それでもラッピングだらけである。今回は、浜大津から石山寺側に乗車したので、今回は反対の坂本方面に乗車した。

ただ、折り返しとなる坂本駅は、それほど撮影に便利ではなかった。そのまま反対側の石山寺まで乗車し、こちらのホームは撮影しやすい作りになっているので、外に出て思う存分撮影した。



浜大津まで戻ったら、ラッピング電車ともお別れだ。次は、京阪線で宇治まで行く。今度は三条駅で「響け! ユーフォニアム」の京阪線フリーチケットを入手した。



夏服バージョン（上）は発売されたばかり

まずは伏見稲荷駅まで行くが、時間が限られているので伏見稲荷神社には行かない。さふぁいあのパネルを写真に撮るだけだ。



続く電車に乗って、六地蔵駅に向かう。主人公の久美子たちが通う北宇治高校の最寄り駅で、メインキャラ4人の集合パネルがある。



高校の最寄り駅なので、登下校のシーンなども多い。



ボタンを押すのを忘れた駅前の横断歩道



汚れまでも丁寧に再現されていた押しボタン

近くにオープニングで駆けあがっていく川沿いの道があるらしいが、時間がないので見送った。



駅のホームに向かって



別方向

次は木幡だ。ここはユーフォニアムの舞台ではなく、京アニショップがある。



今回買ったのは「響け!ユーフォニアム」グッズばかりだったが、支払いにクレジットカードが使えなくて焦った。なんとか支払いはできたが、お札がなくなってしまうレベルだった。隣にコンビニATMがあって助かった。



ホームに戻ってやってきた電車には高坂麗奈のヘッドマークがついていた。反対側は集合写真のヘッドマークだった。



黄檗駅にあるのは加藤葉月のパネルだ。



宇治～聖地めぐり

こうして写真を撮りながら電車を乗り換えて宇治駅までやってきた。すでに1時半だ。



麗奈のパネルはすぐに見つかったが、久美子のパネルが見当たらない。もしやと思って改札を出て探したらあった。



駅の短いエスカレーターでさえ、「**聖地**」である。

駅を出ると、すぐに宇治橋があった。12話で、「うまくなりたい」と叫びながら久美子が走るクライマックスシーンの舞台だ。

作画に圧倒されただけではない。主人公の感情の高まりをこれでもかという映像で支える「京都アニメーションならではの」を感じさせるシーンでもある。





こうして京阪宇治駅から宇治橋を渡ってJR宇治駅まで歩いた。ここには観光案内所があり、「響け!ユーフォニアム」の探訪マップがある。



というか、さすがに腹が減ったのでスーパーでサンドイッチを買って食べた。





紫式部像



宇治橋と宇治川



宇治橋西詰、卓也と梨子の待ち合わせ場所（8話）



平等院表参道（込んでいたし、時間も限られていたので平等院には行かなかった）



平等院の脇を通って宇治川沿いの「あじろぎの道」へ



葵が久美子を見ていた分かれ道



井川用水機場



久美子がユーフォニアムの練習をしていたベンチ



ベンチ前の風景



記念撮影



あじろぎの道のそばにある宇治市観光センター（ここにも探訪マップがある）



中にはいろいろなものが置いてある



遊覧船乗り場



宇治川を渡って反対側へ

大吉山

そして、いよいよ大吉山に登る。神回とも言われる8話のクライマックスだ。アニメでは夜だが、調べたら街灯がなくて夜は真っ暗と聞いていたので、昼のうちに登ってみることにした。



滝先生がはじめて登場した宇治神社



さわらびの道



登山口



登山道



ここをハイヒールでのぼる麗奈はどうかしてる、と思いつつ15分ほどで展望台に到着した。あがた祭の夜に久美子と麗奈が演奏する場所だ。







そこにいた若者がずっと音楽をかけていたが、ここからの眺めはよかった。しばらくして下山。めぼしいものは撮り終えたので、ふたたび京阪の宇治駅まで戻り。ぶらぶらと歩いていた。



宇治川の中洲から見た大吉山

橋を渡っているときに夕陽が見えた。ああ、さっきの展望台から見たらきれいかもしれないと、もう一度登ってみることにした。やはり夜の場面も撮りたいし、ちょうどいいと思ったのだ。

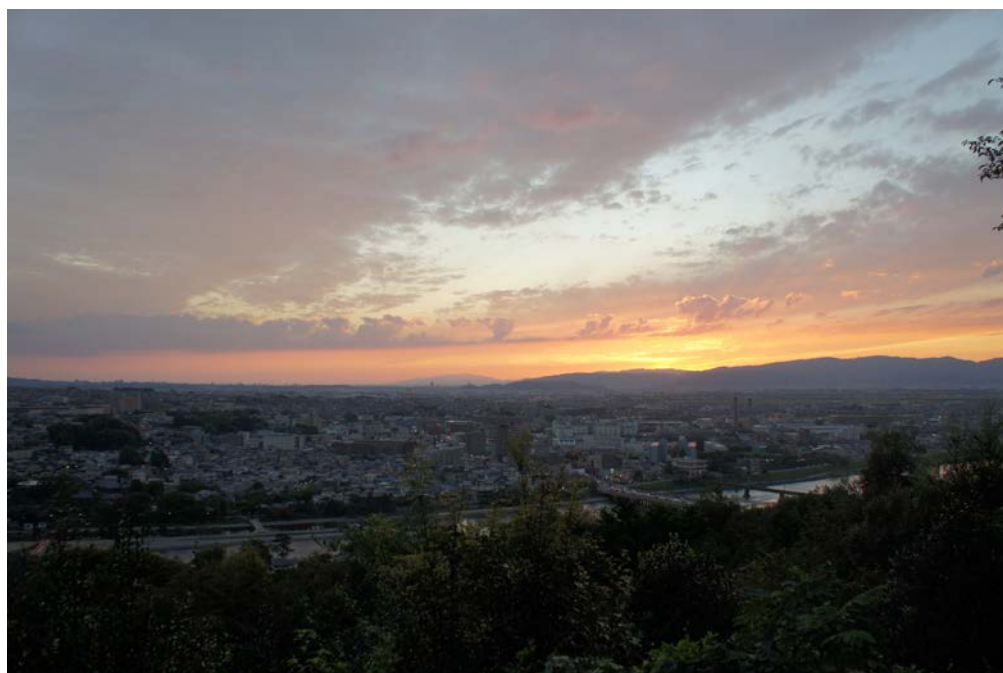


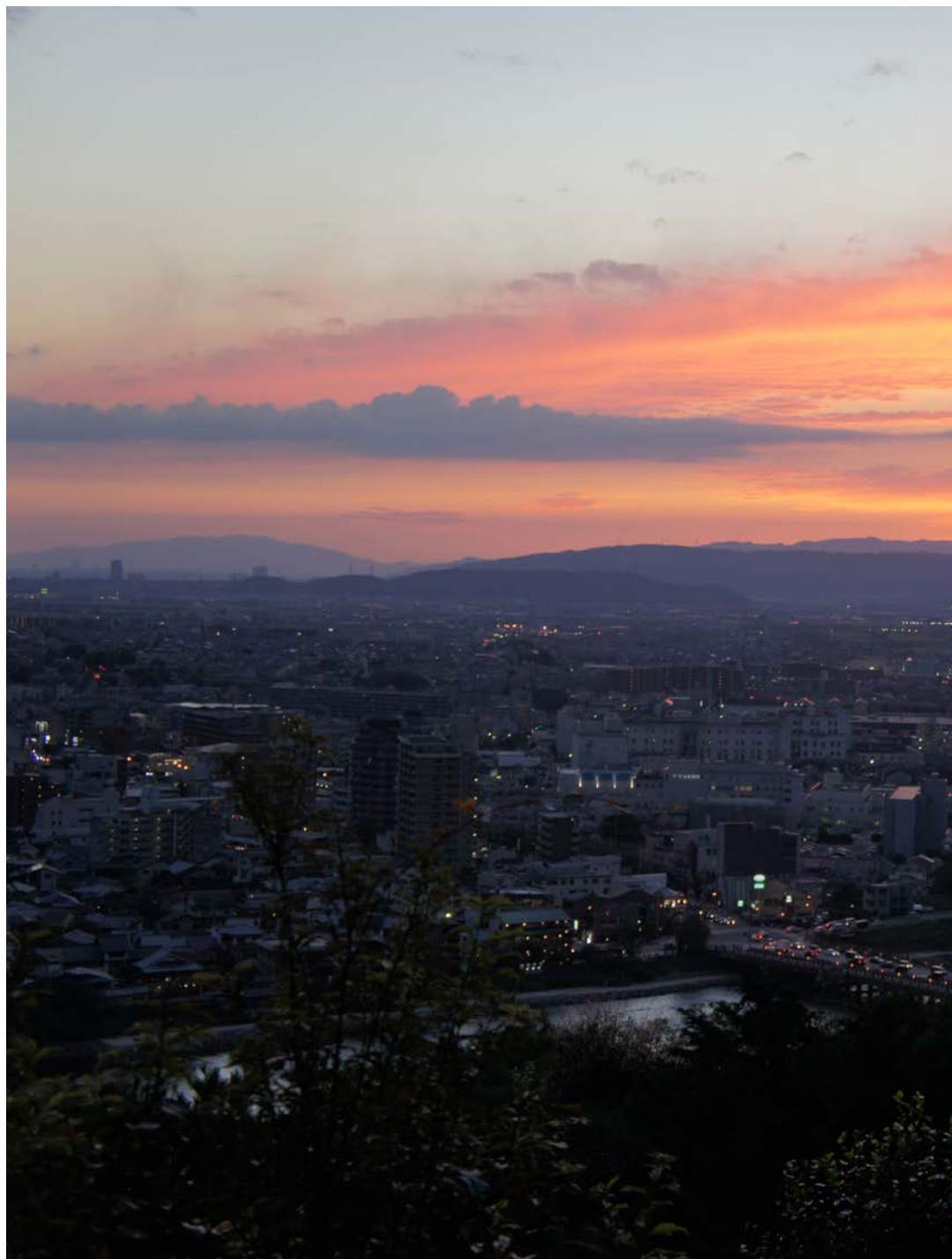
朝霧橋から見た夕陽

日の入りまでそんなに時間があると思えなかったが、急いで登った。上る途中で観た夕陽もきれいだった。



10分かけずに展望台にたどり着いたが、間に合わなかった。すでに日が沈んだ後だった。それでも夕焼けはとてもきれいだった。さきほどの若者もいなくなっていた。















帰り道は暗かった。アニメでは麗奈がスマホのアプリで夜道を照らしていたが、モバイルバッテリーに照明の機能がついていてよかった。

ほんとうなら、もう少し暗くなるまでいたいと思ったが、残念ながら帰京のための夜行バスは名古屋発であり、そろそろ時間が気になるところだった。バスが京都発だったらよかったのだが、そもそも名古屋から帰るバスを無駄にしないためにここまで来たのだ。

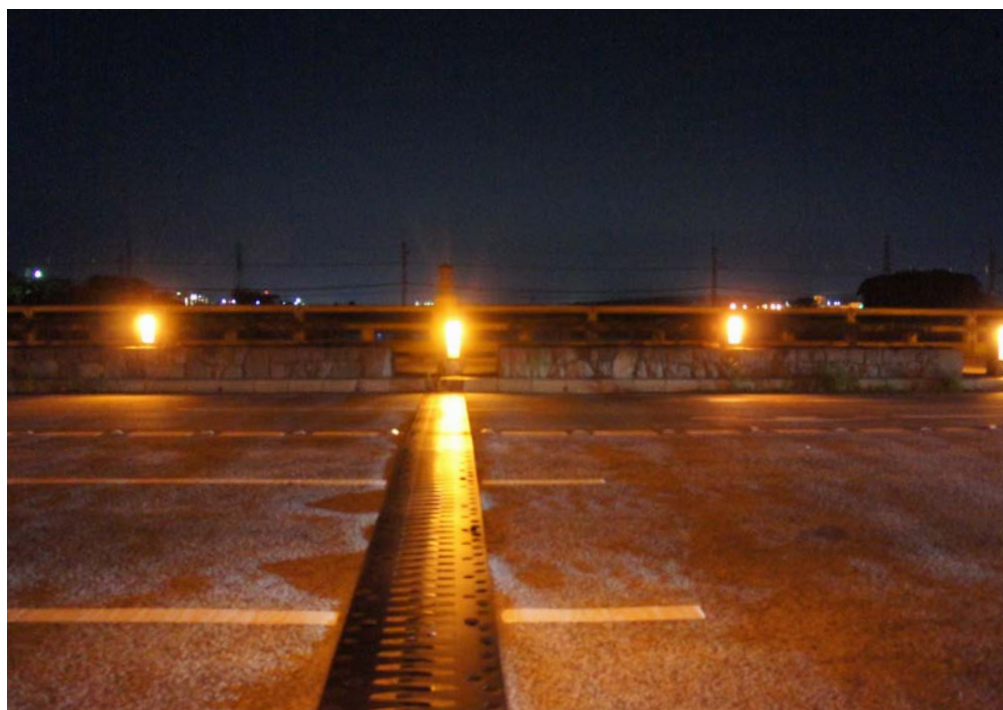


夜の聖地めぐり

アニメ8話のあがた祭りもそうだが、もともと夜のシーンも多い。残りの時間は、夜の宇治をまわることにした。







オマケ

京阪宇治駅で電車に乗り、六地蔵駅で降りる。夜の駅前の場面を撮るためだ。



JR代を節約するため、京阪線で三条まで行き、浜大津を経由して、フリー切符で行ける京阪石山駅に向かう。

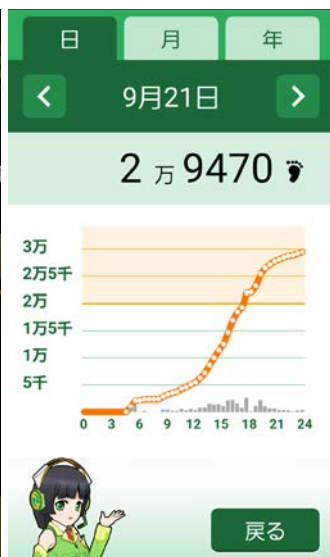
そこでフリー切符の道程は終了だ。あとは普通電車で名古屋に行き、夜行バスで東京へ。最後は中央線で帰る。



もちろん、ちゃんと計画していたら、もっと無駄のない回り方ができただろう。少なくとも京都から直接東京に戻ることができた。でも、どんなきっかけであれ「響け! ユーフォニアム」の聖地をまわることができてよかった。アニメを見るときに、その場所のことを思い出すことができる。

ともあれ、3万歩近くの日帰り聖地巡礼は終わった。次回はあがた祭りの時期に行きたいところだが、大吉山展望台は込んでいるのだろうな。

この後、10月には「響け! ユーフォニアム」のイベントに参加したが、これがまた素晴らしいイベントだった。総集編としての劇場版と二期の制作も決まった。浜大津駅であった群馬のファンも喜んでいることだろう。





京都・宇治旅行 (2015)

2015 年 9 月 21 日「響け! ユーフォニアム」聖地

京都・宇治旅行 (2015)

2015 年 9 月 21 日「響け! ユーフォニアム」聖地

© 2015 Motohisa Ohno <http://www.mohno.com/>

※本文では以下のサイトからキービジュアルなどを引用しています。

「人生」<http://www.vap.co.jp/jinsei/>

「響け! ユーフォニアム」<http://anime-eupho.com/>

および Twitter 公式アカウント https://twitter.com/anime_eupho

「SHIROBAKO」<http://shirobako-anime.com/>

「心が叫びたがってるんだ。」<http://www.kokosake.jp/>